

深海地球ドリリング計画の中間評価項目(案)

【前回】

評価項目	変更主旨
1. 「ちきゅう」が深海地球ドリリング計画を遂行するのに十分な性能を備えた船であるか (1)地球深部探査船に関する取組について (i)「ちきゅう」の建造 ①「ちきゅう」の性能と研究者の提案の反映状況 ②「ちきゅう」の建造体制とコスト	
2. 安全で効率的な「ちきゅう」の運用環境が築けているか (ii)「ちきゅう」及び関連施設の運用環境 ①効率的な運用体制の整備 ②安全な運用体制の整備 ③研究支援体制の整備 ④海洋コア総合研究センターの整備	
3. IODPは意義ある計画となっているか (2)IODPの構造と我が国の取組について (i)IODPの意義 ①科学目標とその意義 ②社会・経済への波及効果	
4. 我が国がIODPを主導できているか (ii)IODP主導国としての我が国の取組 ①国際的なIODP推進体制の構築 ②アジアを中心とした諸外国のIODPへの参加促進及び連携 ③世界的研究拠点の提供 ④IODPへの参加に関する取組	
5. 国内におけるIODP関連活動の推進体制が築けているか (iii)国内におけるIODP関連研究の推進体制 ①国内研究者組織の構築 ②IODP関連研究の推進	
6. 人材育成に努めているか (3)人材の育成について (i)研究者の育成 (ii)技術者の育成 (iii)計画推進実務者の育成	
7. 普及広報活動を積極的に実施しているか (4)国民への説明について	
総合評価	

【今回】

評価項目	変更主旨
1. IODPは意義ある計画となっているか (1)IODPの構造と我が国の取組について (i)IODPの意義 ①IODP科学目標とその意義 ②「ちきゅう」による科学的成果 ③その他の掘削船による科学的成果 ④社会・経済への波及効果(技術的成果の波及効果含む)	「ちきゅう」運用開始により追加。「ちきゅう」運用で得られる成果をもってIODPの意義を評価。 他の掘削船で得られる成果も考慮しIODPの意義を評価。
2. 我が国がIODPを主導できているか (ii)IODP主導国としての我が国の取組 ①国際的なIODP推進体制の構築とリーダーシップ ②アジアを中心とした諸外国のIODPへの参加促進及び連携 ③世界的研究拠点の提供 ④IODP運営への国内研究者の参加促進に関する取組	
3. 国内におけるIODP関連活動の推進体制が築けているか (iii)国内におけるIODP関連研究の推進体制 (国内研究者組織の活動及びIODP関連研究の推進)	国内研究者組織を構築し運営すること、その活動を支援することをまとめて評価。
4. 「ちきゅう」が深海地球ドリリング計画を遂行するのに十分な性能を備えた船であるか (2)地球深部探査船「ちきゅう」に関する取組について (i)「ちきゅう」の性能と研究者・運航者等の技術提案の反映状況	
5. 安全で効率的な「ちきゅう」の運用環境が築けているか (ii)「ちきゅう」及び関連施設の運用環境 ①効率的な運用体制の整備 ②継続的な運用のための維持管理体制の整備 ③安全及び環境保全に配慮した運用体制の整備 ④船上研究設備・支援体制の整備 ⑤高知コアセンターの整備・運営	「ちきゅう」完成に伴い、建造体制の項目を削除し維持管理体制の評価を追加。
6. 人材育成に努めているか (3)人材の育成について (i)研究者の育成 (ii)技術者の育成 (iii)計画推進実務者の育成	
7. 普及広報活動を積極的に実施しているか (4)国民への説明について	
総合評価	